

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和4年10月4日

①学校名:	長岡技術科学大学 大学院(国立)		②所在地:	新潟県長岡市上富岡町1603-1			
③課程名:	工学研究科修士課程 システム安全工学専攻		④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2006/4/1	
⑥責任者:	門脇 敏		⑦定員:	15名	⑧期間:	2年間	
⑨申請する課程 の目的・概要:	産業界、研究機関及び行政における、システム安全の最先端知識と高い倫理観を持ち、安全の諸課題や新技術に対応できる精深な学識、論理的思考力及び想像力、つまり研究能力を有し、これに加えて、安全の諸課題を解決できる卓越した能力、つまり実務能力を有する人材の養成を目指した課程である。 安全原理、技術者・研究者倫理及び研究方法論の学修によりシステム安全に関する体系的知識を、リスクアセスメント、規格立案書・設計立案書の作成、安全認証及び組織安全管理の講義及び演習により実務能力を、政策・経営、規格・認証及び安全技術の各分野からなる講義により専門基礎力を、海外・国内の安全認証機関等でのインターンシップにより実務能力を涵養することを目指す。 安全に関する研究職・管理職や安全を統括する責任者として活躍するために必要な能力を修得する。						
⑩10テーマへの 該当	ビジネス等(経済・政治 等) 防災・危機管理	⑪履修資格:	大学を卒業した者及び3月までに卒業見込みの者				
⑫対象とする職 業の種類:	安全管理、安全認証、安全規格開発及び安全設計等の管理職、研究職及びコンサルタント、安全を統括する経営層						
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・システム安全に関する安全原理、政策と法、規格と 認証、経営と組織についての専門知識 ・研究方法論			(得られる能力) ・安全の諸課題を解決できる実務能力 ・システム安全に基づく研究能力			
⑭教育課程:	システム安全概論や研究倫理・技術者倫理等により基礎的なシステム安全に関する知識を習得するとともに、安全マネジメント特論、安全認証・安全診断特論、安全倫理学、リスクアセスメント特論、安全システム構築論等により専門基礎力を修得する。加えて、電気安全設計特論及び火災爆発特論等により多様な専門知識を習得する。また、産業・環境技術政策論、安全法務及び経営工学特論等により管理職・経営層として必要な知識を習得する。システム安全考究Ⅰ～Ⅳでは実習・発表・グループ討議を行うことにより応用実践力を涵養し、特に海外インターンシップ及び国内インターンシップでは実地演習により実務能力を涵養する。						
⑮修了要件(修了 授業時数等):	修了に必要な単位は、必修科目7単位、選択必修科目6単位以上、選択必修科目と選択科目の合計23単位以上、総計30単位以上とする。修士課程を修了するには、大学院工学研究科に2年以上在学し、上記所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査および最終試験に合格しなければならない。						
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(工学)						
⑰総授業時数:	61	単位	⑱要件該当授 業時数:	48	該当 要件	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	79%
⑳成績評価の方法:	出席状況、試験あるいはレポート等の評価に基づき5点法により行う。上から4段階以上を合格とする。						
㉑自己点検・評価 の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。 「システム安全工学専攻教育課程連携協議会」において本課程の成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。						
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	修了者に対し、アンケートや特別講演会(年2回)でのヒアリングを実施し、その結果を分析することにより効果を検証する。						

⑳企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 企業等で職業の実務に関し豊富な経験を有するもの、学識経験者及び本学教職員等により組織する「システム安全工学専攻教育課程連携協議会」において、教育課程の編成及び実施に関する基本的事項を審議することにより、教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 「システム安全工学専攻教育課程連携協議会」において、修了生及び在学生へのアンケート結果等を提示し、委員間で審議することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。
㉑社会人が受講しやすい工夫:	土日祝日開講、集中講義、オンライン受講、e-learning
㉒ホームページ:	(URL) https://whs.nagaokaut.ac.jp/system-safety/index.html

事務担当者名:	澁市 拓也	所属部署:	学務課教育交流係
連絡先:	(電話番号)	0258-47-9244	(E-mail) kyoiku@jcom.nagaokaut.ac.jp

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。

(様式2)

授業科目の概要について

学校名	長岡技術科学大学
課程名	システム安全工学専攻

要件該当授業時数:	48 単位
要件該当授業時数/総授業時数:	79%

分類	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	システム安全考究Ⅰ	1	1					木村 哲也 大塚 雄市	長岡技術科学大学 システム安全系 長岡技術科学大学 システム安全系
必修	システム安全考究Ⅱ	1	1			○		三好 孝典 芳司 俊郎 福田 隆文	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
必修	システム安全考究Ⅲ	2	1			○		阿部 雅二郎 杉田 吉広	長岡技術科学大学 システム安全系 テュフラインランドジャパン(株)
必修	システム安全考究Ⅳ	2	1		○	○		山形 浩史 張 坤	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系
必修	システム安全概論	1	1			○		阿部 雅二郎 津田 積善 福田 隆文 芳司 俊郎	長岡技術科学大学 システム安全系 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
必修	研究倫理・技術者倫理	1,2	2			○		芳司 俊郎 中野 晋 佐藤 国仁	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 (株)古賀総研 (有)佐藤R&D
選択必修	労働安全マネジメント特論	1,2	2			○		門脇 敏 大賀 公二 松倉 宏行	長岡技術科学大学 システム安全系 有人宇宙システム(株) (一財)日本品質保証機構
選択必修	安全マネジメント特論	1,2	2		○	○		山形 浩史 張 坤	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系
選択必修	安全認証・安全診断特論	1,2	2			○		福田 隆文 梅崎 重夫 吉川 保 清水 尚憲	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) (有)フェイス ジー・オー・ビー株式会社
選択必修	安全論理学	1,2	2			○		福田 隆文	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
選択必修	リスクアセスメント特論	1,2	2					木村 哲也 松田 利浩	長岡技術科学大学 システム安全系 Office Co.Think
選択必修	産業システム安全設計特論	1,2	2			○		芳司 俊郎 田辺 郁男 池田 博康 梅崎 重夫 清水 尚憲	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 三条市立大学 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) ジー・オー・ビー株式会社
選択必修	安全システム構築論	1,2	2			○		三好 孝典	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	海外インターンシップ	2	2	○	○		○	三好 孝典	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	国内インターンシップ	2	1	○	○		○	三好 孝典 阿部 雅二郎	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系
自由選択	産業・環境技術政策論	1,2	2			○		山形 浩史	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	技術経営論	1,2	2		○	○		山形 浩史	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	組織マネジメント特論	1,2	2			○		津田 積善	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	リスクマネジメント特論	1,2	2			○		岡部 紳一	東京海上日動リスクコンサルティング(株)
自由選択	機能安全基礎論	1,2	2			○		福田 隆文 坂井 正善	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	国際規格と安全技術論	1,2	2			○		芳司 俊郎 梅崎 重夫 池田 博康 清水 尚憲	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員) (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 ジー・オー・ビー株式会社
自由選択	電気安全設計論	1,2	2			○		坂井 正善	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	技術と知的財産論	1,2	2			○		吉井 剛	吉井国際特許事務所
自由選択	火災爆発特論	1,2	2			○		門脇 敏 鈴木 正太郎	長岡技術科学大学 システム安全系 長岡技術科学大学 機械系
自由選択	騒音・振動工学特論	1,2	2			○		阿部 雅二郎 田浦 裕生 藤野 俊和	長岡技術科学大学 システム安全系 近畿大学 機械工学科 東京海洋大学 海洋電子機械工学科
自由選択	協働ロボット安全特論	1,2	2			○		三好 孝典	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	ロボット工学特論	1,2	2			○		宮崎 敏昌 大西 正紀	長岡技術科学大学 電気電子情報系 S-Tech Lab
自由選択	技学特論	1,2	1			○		木村 哲也 田浦 裕生 浅井 由尚 鍋島 厚太	長岡技術科学大学 システム安全系 近畿大学 機械工学科 テュフズードジャパン(株) Octa Robotics
自由選択	事故情報分析特論	1,2	1					張 坤	長岡技術科学大学 システム安全系
自由選択	情報セキュリティ特論	1,2	1					木村 哲也 張 坤 中村 章人	長岡技術科学大学 システム安全系 長岡技術科学大学 システム安全系 会津大学 コンピュータ理工学部
自由選択	経営工学特論	1,2	2			○		津田 積善	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	ヒューマンファクター特論	1,2	2			○		宮地 由芽子	長岡技術科学大学 システム安全系(実務家教員)
自由選択	安全法務	1,2	1			○		本元 宏和	さくら北浜法律事務所
選択必修	法工学	1,2	1			○		岡本 正	銀座パートナーズ法律事務所
自由選択	構造安全性評価特論	1,2	2					大塚 雄市 井原 郁夫 宮下 幸雄 久保 貴博	長岡技術科学大学 システム安全系 長岡技術科学大学 機械系 長岡技術科学大学 機械系 (株)東芝
自由選択	医療安全特論	1,2	2					大塚 雄市 野沢 義則	長岡技術科学大学 システム安全系 八戸市立市民病院
合計:	36科目						61		単位

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。
(令和5年度のシラバスは作成前のため、令和4年度のもの添付します。令和5年4月1日以降も内容に大幅な変更はなく、各回の担当教員を明記したものを作成次第提出します。)